

先入観

富岡市立西中学校

三年 小菅 太愛

「眠いなー。どうせつまらない話するんだから、早く終わらないかなー。」と思っているあなた。あなたは、これから私が話をしようとしている「先入観」を感じています。先入観とは、あることに関しても前から持っている思い込みのことです。もう少し簡単な例を紹介しましょう。みなさんは、テストで最初から諦めてしまい、勉強を投げ出してしまったことがないでしょうか。この時、「どうせ良い点取れないんだから、勉強なんかする意味ないだろ。」とってしまったら、これも先入観です。これだけでなく、私達は日々の生活のいかなる場面で「先入観」というものを感じています。しかし、この身近な「先入観」が、人生に大きな影響を与えてしまっていることを気付かされる

ことになりました。私のその経験を今から話します。

きっかけとなった出来事は昨年のことでした。あるニュース番組を見ていたときでした。そのニュース番組では、現在メジャーリーグで二刀流で活躍している大谷翔平選手のインタビュ映像が放送されていました。過去に例を見ない二刀流として日本で活躍していた大谷翔平選手。その大谷選手に対して、インタビュアーが次のような質問をしました。

「メジャーリーグでは二刀流での活躍は難しいだろうという意見も多くありますが、大谷選手はどう考えているのですか。」

この質問に対して大谷選手は、

「『二刀流？ そんなの無理に決まってる。』と思う人はたくさんいると思います。そう思うことは決して悪いことではないと思います。レベルの高いメジャーリーグですし、しかも二刀流で活躍している選手はほとんどいません。だからそう思うのは当然のことだと僕は思います。でも僕は、そのような「先入観」が可能なことも不可能にしてしまうと思います。だから

挑戦する価値はあると思っています。」

と答えたのです。「先入観が可能を不可能にする。」
今まで常識をくつがえしてきた大谷選手は、この言葉をずっと思っていたんだろうと思いました。それと同時に、私は心動かされました。そして自分のこれまでを振り返ってみました。「先入観」で最初から諦めてしまったことがなかっただろうか。また、途中で投げ出してしまったことがなかっただろうか。振り返った結果、そのようなことはたくさんありました。それは、勉強や部活など、様々な場面に渡りました。しかし、私は「そこから変わってみよう」と思いました。与えられた課題や達成したい目標、それがどんなに困難なことでも、簡単に「無理でしょ」という言葉を口にしなないと決意しました。そこで、その後の期末テストでは、五教科の合計目標点を、いつもより三十点高く設定しました。今までだったら、勉強をされていて分からなくなってくる、面倒くさいと思ってしまい、途中でやめてしまっていました。でも今回は諦めずに勉強を続けました。そして、その目標点をクリアすること

ができました。

もちろん、私もまだまだな部分がたくさんあります。どうしても、初めから「無理」と思ってしまうことがあります。でも、そこで踏ん張れることがとても大きいことだと私は思います。ですから、みなさんも少しで良いので「先入観」に左右されないことを意識してみてください。きっと今までよりプラスな人生になっていくと信じています。たったそれだけでも、今まで出来なかったことが出来るようになるかもしれません。たとえ出来なかったとしても、「諦めず挑戦したことで、何かを得られる」と私は考えています。「先入観が可能を不可能にする」。みなさんもこの言葉について自分のこれまでを振り返ってみてはいかががでしょうか。